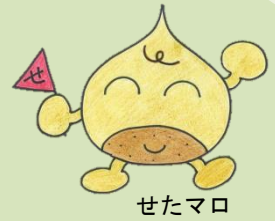


今回は、お約束していたユニー(株)の社員研修用ビデオの内容をご紹介します。
このビデオは昨年の3Daysセミナーの講師である百瀬則子氏が、
同社顧問を務められている関係から、お借りして映写したものです。
百瀬氏に初めてお会いした際のお話が強く印象に残っています。



せたマロ



ユニー(株)顧問 百瀬則子氏

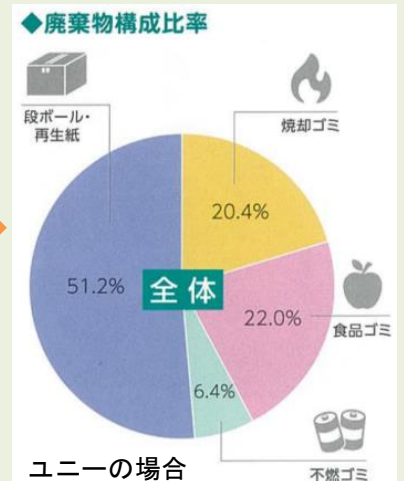
「ユニーでは、分けて、計ることから始めたんです。
4～5年かけて、会社全体の廃棄物の処理コストが3分の2になりました。」
ユニー(株)の取り組みは他の事業所でも参考になると考え、ロードマップと
して表現してみましたので、ご覧ください。

特集「廃棄物の減量に向けた取り組み ～ユニー(株)の社員研修用ビデオより～」

STEP 1 調べる

1. 自分の事業所からどのような廃棄物が、どのくらい出ているのかを知る

- ① 廃棄物を種類ごとに分別し、一定期間、それぞれの量を計る (ヘルスマーターの上にかごを置いたようなものでも可能)、データを集積して組成を確認する

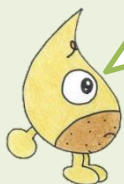


- ② 再利用できるものがないか、リサイクルできるものはどれか、確認する
- ③ 品目別に、リサイクルできるものが最終的に有価物になるまでの流れを確認 (リサイクルできるもののうち、売却できるものがあれば処理費用の削減が可能)

STEP 2 整える

2. 事業所内の調整・方針の決定を行う

- ① 分別方法・計量方法を決定する
- ② 目標を設定する (数値化すると効果を測りやすい)



ユニーでは廃棄物を排出場所・種類ごとにバーコードで管理し、計量器で重量を計るシステムを導入



ユニーのゴミは19分類

可燃ゴミ	一般可燃ゴミ ビニール(食品系) 生ゴミ 魚のアラ 天かす 食用廃油
不燃ゴミ	ビン 缶
発泡スチロール	
ダンボールおよび再生紙	ダンボール 紙類(再生可) プラスチック
その他	ビニール(衣住系) ペットボトル 陶器・ガラス 金属くず 廃家電 混合廃棄物 その他産業廃棄物

- ③ 事業所内で役割分担（誰が何をするか）を決める
- ④ 効果測定の方法をあらかじめ決めておく（STEP4 参照）
- ⑤ 廃棄物の処理業者、資源の回収業者を決めて契約を締結

ユニーでは「きれいなビニール」と「汚れたビニール」を分け、きれいなビニールはリサイクル

3. 必要なものをそろえる

- ① 分別マニュアルの作成
- ② 分別容器と表示物の作成

袋が透明で中身が見えると、異物も発見しやすい



- ③ 計量結果の記入用紙の作成（計量を社員等で分担する場合）
- ④ 事業所内の周知用の文書等の作成
- ⑤ 事業所内の研修等の機会の設定・開催



社内研修の風景

PPバンドはリサイクルルートが異なるため、分けて回収

STEP 3 共有する

4. 排出量・資源化量などを内部（社員等）・外部（お客様等）に報告する

- ① 目標達成率や社内変化、コスト削減効果などを見える化する（取り組んでいる人への動機づけ）
- ② 関連情報を提供する
- ③ 事業所内の意見を募集する



廃棄物が何に生まれ変わったかを展示

STEP 4 評価する

5. 取り組みの効果を測定し、検証する

- ① 処理費用の削減効果を確認
- ② 事業所内の評価の把握（社員へのアンケート実施等）
- ③ 取り組み前後の変化の把握（写真を撮影する等）
- ④ 改善点の検証



取り組みの継続

出典：「正しいゴミの分別方法」（DVD）、「環境レポート 2018」（冊子） ユニー株式会社

～編集後記～

廃棄物の減量に向けた取り組みの「STEP」は、どこの事業所で取り組む際にも基本になるものだと思います。皆さんの事業所でも、取り入れることができるものがあれば、参考にさせていただき、是非実践してみてください。そして、その経過や結果を区に共有していただけたら幸いです。